

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13092	3	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	公衆栄養学Ⅱ (国内外の健康・栄養施策・栄養疫学) (Public Health Nutrition Ⅱ)				
担当教員名	梶 忍				
授業の概要及び到達目標					
<p>○授業の概要： 国内外における「栄養関連の健康問題」や「健康づくり施策」の推移と展開について理解を深める。公衆栄養活動を取り巻く社会環境、法律・制度、関連組織の役割と連携やコミュニケーション・栄養情報の管理について学修する。また国民健康・栄養調査などの栄養疫学調査の結果評価を、現状把握や栄養政策へ応用させることが、予防医学的アプローチとなることについて理解を深める。</p> <p>○到達目標：健康増進と疾病予防を目指す公衆栄養活動を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり施策や指針について、策定の背景、目的、内容について説明できる。 国民健康・栄養調査結果の推移と関連づけて、現状課題や疾病構造の推移を説明できる。 健康づくり施策を担当する行政、関連する組織の役割と連携方法について説明ができる。 健康づくりに関わる地区組織育成の必要性を理解し、コミュニティ・オーガニゼーション、コミュニティ・エンパワメントの考え方を説明できる。 地域における食料の生産・流通に関わる諸組織に対して、地域住民の健康増進およびQOL向上の視点から提言や助言を、どのように行えばよいか説明できる。 食物・情報へのアクセス面の食環境づくりのための方法を説明できる。 地域の健康・栄養活動における栄養疫学の必要性和意義を説明できる。 疫学をふまえた、地域の健康・栄養活動の効果測定の方法を説明できる。 地域の健康・栄養施策の立案に栄養疫学の科学的根拠の活用法について理解し活用できる。 栄養に関わる主な国際機関の名称（世界保健機関 WHO、国連食糧農業機関 FAO、国連児童基金 UNICEF、国連世界食糧計画 WFP、世界貿易機関 WTO 等）とその概要を説明できる。 諸外国における栄養の変遷と動向を説明できる。 諸外国の管理栄養士・栄養士の養成制度と社会での役割と栄養士会組織と活動を説明できる。 					
準備学習等					
<p>○2年「公衆衛生学」 3年前期「公衆栄養学」で学んだことを、疫学等を含め復習しておくこと。</p> <p>○当日の教科書の該当のページについては授業前に読んでおくこと。</p> <p>○毎回の課題については、授業の中でお伝えします。</p>					
成績評価の方法	<p>○授業態度評価（15%）、ミニテスト（15%）、期末試験（50%）、事前・事後学習用の課題ノートの評価（20%） 上記を目安として総合的に評価します。</p> <p>○事前・事後学習は課題ノートのみをみて評価いたします。 期末試験の際に必ず提出すること。（ノートには年表作成も含めます。）</p>				

テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ○「公衆栄養学」第6版(編)古野純典・吉池信男・林 宏一(南江堂) ○「公衆栄養学2019年度版」(編)酒井 徹・由田克士編(医歯薬出版)
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ○「新版公衆栄養学実習ワークブック」徳留裕子・東あかね(編)((株)みらい) ○「カレント公衆栄養学」由田克士・押野榮司編(建帛社) ○日本人の食事摂取基準2015年版(第一出版)(※)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ○本科目の受講は、「栄養教育論」で学ぶ栄養調査方法について、また、「公衆衛生学」で学ぶ疫学概念について、理解していることが前提です。 ○オフィスアワーはdesknet'sの一覧を確認すること。 ○授業終了後にふりかえりのテストを実施します。その内容はテスト後、授業内で説明いたします。 ○15回の授業の中でミニテストを1回実施します。 ○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
<p>第1回：栄養疫学の概要：曝露情報としての食事摂取量（個人内変動と個人間変動）</p> <p>第2回：食事摂取量の測定方法エネルギー調整方法（残差法など）</p> <p>第3回：日本における健康・栄養問題の現状と課題</p> <p>第4回：諸外国における健康・栄養問題の現状と課題（微量栄養素の欠乏）</p> <p>第5回：食環境づくり施策の展開（特定用途食品）</p> <p>第6回：健康づくりのための指針やツール（地域における健康づくりとは）</p> <p>第7回：国民健康・栄養調査（国民健康・栄養調査）</p> <p>第8回：諸外国の健康・栄養施策（ヘルシーピープル、WHO、FAO）</p> <p>第9回：健康づくり施策①．健康日本21と食環境づくり施策の展開</p> <p>第10回：健康づくり施策② 食育推進計画日本における食育（行政の取り組み）</p> <p>第11回：疫学のデザインと評価（ケース・コントロール研究・オッズ比）</p> <p>第12回：疫学のデザインと評価（前向きコホート研究・リスク比）</p> <p>第13回：地域の健康・栄養活動への栄養疫学の活用（統合解析）</p> <p>第14回：課題レポート発表（1）疫学研究の読解</p> <p>第15回：課題レポート発表（2）疫学研究の読解</p>	